

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	10	
事業名	防犯事業費		会計	款	項	目
			一般	3	1	5
施策	1	安全・安心なまち	課名	町民課		
	1-1	安全・安心のまちをつくる	係名	町民活動係		
	1-1-2	交通安全・防犯対策の充実				
主要施策	③防犯意識の高揚		④防犯環境の充実			

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域・自治会・児童・生徒・学生等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	情報発信等により地域の防犯意識を高め、犯罪等からの被害を未然に防止するため地域安全活動の推進と生活環境の保全、防犯等の維持管理を行うことにより、安全・安心のまちづくりを実現する。
事業内容	防犯啓発事務…いなべ警察、東員交番、員弁地区生活安全協会と連携して、地域への広報・行政メール等の情報提供や啓発活動、自治会への防犯のぼり旗の提供等、防犯対策を推進します。 防犯灯維持管理事務…ランニングコスト削減及び環境負荷軽減を図ることを目的に平成29年度で町内全ての防犯灯をLEDとしました。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	防犯啓発回数		20	28	回	↓		12
2	刑法犯認知件数		147	117	94	件	↓		↓
3	修繕率(依頼があった件数に対応した数)		100	100	100	%	→		100
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					12,023		7,759	8,554	
財源内訳	直接事業費 A				12,023		6,637	7,432	
	うち一般財源				11,838		6,577	7,322	
人件費(千円) B					0		1,122	1,122	
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.17	1122	0.17	1122
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	刑法犯罪認知件数は全国的に戦後最少となり、この地域にあっても同様に減少傾向にあるが、地域の皆さんの防犯意識を更に高めていくことが必要である。
②H30年度に実施した取り組み	防犯等の維持・管理、不審者情報等の行政メール配信、防犯意識の高いまちであることをアピールするためののぼり旗等の配布。	④今後の改善計画	現在も登下校時の見守りなど、各地域の皆さんにより自発的に行って戴いているが、こうした善意の取組を拡げていくことが必要である。